

大曾根地区

地域福祉保健計画

(計画期間：平成 18 年度～22 年度)

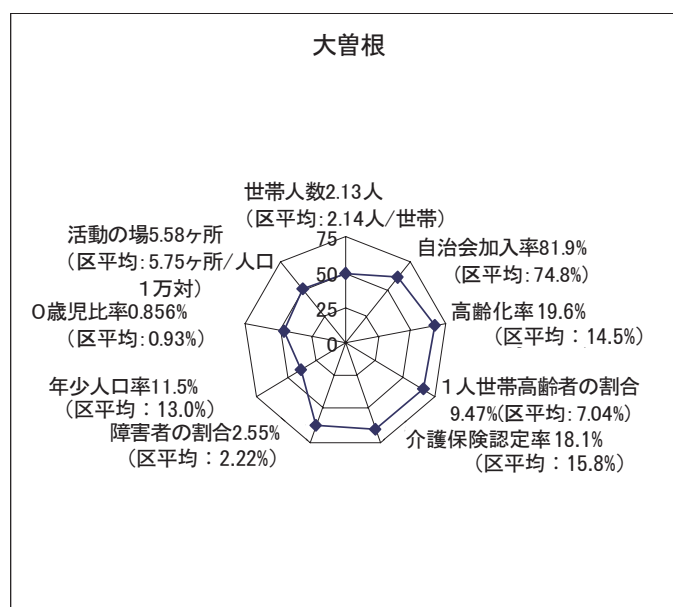
I 大曽根地区の現状と課題

1 大曽根地区の特徴

大曽根地区は、大曽根1～3丁目、大曽根台の範囲です。総人口は10,748人、年少人口が少なく、老年人口が倍近くなっています。高齢化率は19.6%で、13地区の中で最も高く、65歳以上の人の要介護認定率も18.1%と一番高くなっています。大曽根地区には22の自治会町内会があります。

大曽根地区は、坂や階段が多く、バス路線もないため不便ですが、公園が多く自然環境に恵まれています。山や川、また昔ながらの商店街があり、ゆったりとした地形が人と人とのつながりなど精神的により作用をもたらしています。

高齢者が多いという特徴から、地域では老人会や高齢者を中心とした活動が盛んです。しかし、ここ最近では、マンション建設などで若い世代も少しずつ増える傾向にある地区です。



2 大曽根地区の課題

① 交流

○地域の障がい児・者をめぐっては、保護者の負担の大きさと、障がい児者の家族が家へ立ち入れられるのを嫌う傾向にあることが問題視されています。また、地形的に坂や階段が多く、障がい児者にとっては外出がしづらく、地域の行事に参加するのが大変な状況があります。

② 情報・相談

○高齢者をめぐっては、民生委員の訪問を希望しない人、友愛活動推進員の訪問を嫌がる男性高齢者が多いという状況があります。また、何かあったときどこに相談したらよいかわからないという声があります。このため、地域に「よろず相談」ができるような場も必要です。

○必要なところに必要な情報が届かない、各団体から住民への連絡や広報がうまく提供できていないところがあるという声があります。また、情報の重要度が一部の人にしかわからないため十分に周知できない場合があることが問題にされています。

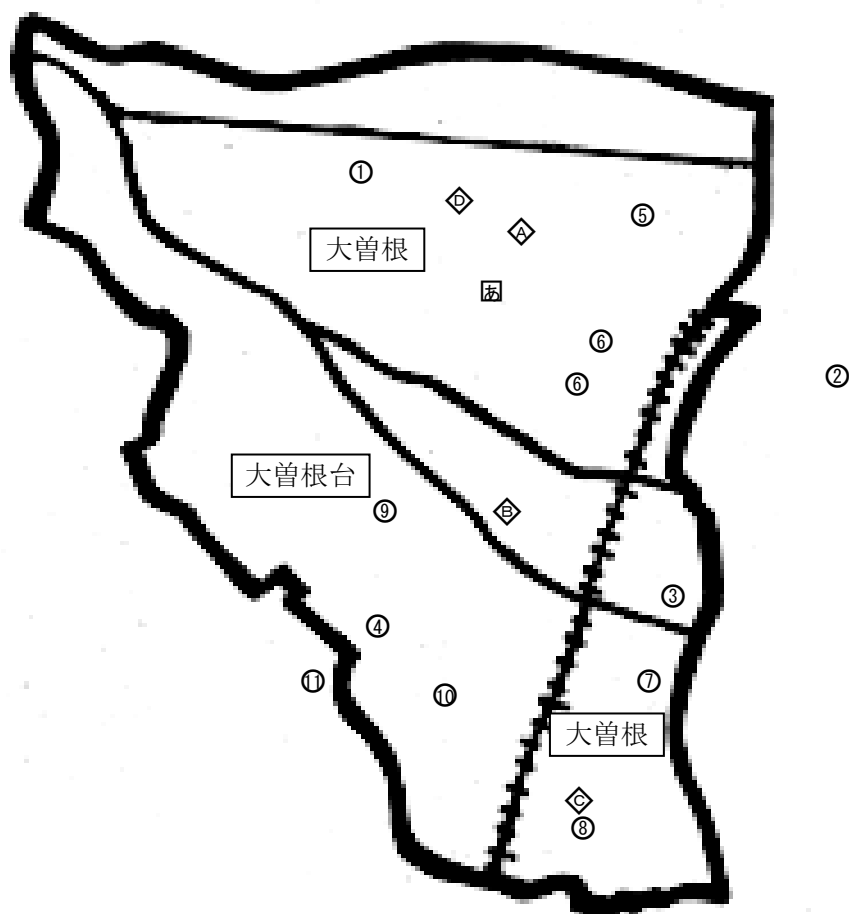
③ 場・拠点

○高齢者の活動場所が不足しています。また、行事へ参加するためには車が必要となる場合が多く、参加のための移動手段を確保することが課題となっています。

④ ボランティア・担い手

○ボランティア組織がしっかりしており、世代間交流や新旧住民の交流も盛んな一方で、高齢化率は高く、また地区社会福祉協議会と地区連合町内会との連携や地域の担い手の世代交代がうまく進んでいません。

3 地域の拠点や福祉保健の取り組み状況



< 保育園・小中学校 >

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
◇	おおつな保育園	
◇	市立大曽根保育園	・ 園庭開放
◇	市立大倉山保育園	・ 園庭開放
◇	市立大曽根小学校	・ 学校開放 ・ 住民健診会場 【区主催】

<町内会館>

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
⑩	大曽根会館	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者のつどいを月1回開催 【もえぎ】 ・地区リハビリ教室を月1回開催 【ひまわりの会・もえぎ】 ・高齢者ミニデイサービス月2回開催 【もえぎ】 ・配食サービスを毎金曜日実施 【よつば会】 ・高齢者昼食会を月1回開催 【やすらぎ会】 ・大曽根ちびサロンを月1回開催 ・大曽根赤ちゃん会を月1回開催 【区主催】 ・生きがいづくり活動（男の料理教室・折り紙教室・棋楽会・健康体操・歩こう会）を各週1回～月1回開催

<福祉施設・公共施設・ボランティアグループなどの活動場所>

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
①	ガーデンズ綱島プレイルーム	・子育てサークルで利用
②	樽町地域ケアプラザ	・大曽根地区地域支え合い連絡会を実施
③	小規模通所授産施設 セサミ香房	・作業やレクリエーション等を通じて心の病のある人の自立を支援しています
④	大曽根地区エリア	・町ぐるみでの取り組みをしています 【大倉山さんぽ会】
⑤	大曽根北公園	
⑥	大曽根第4・5公園	
⑦	大曽根第2公園	
⑧	大曽根南公園	
⑨	大曽根公園（通称：くじら公園）	
⑩	大曽根第3公園	
⑪	梅林	

その他の活動等
・「ネットワークの会」の会員に高齢者の情報が伝わるようになっています
・町内会では防犯パトロールを行い、コミュニケーションを円滑化しています
・子どもの居場所づくりとしてはまっ子ふれあいスクールや大曽根ゆうゆうフェスタ、赤ちゃん会、ちびサロンなどが開催されています
・友愛活動、老人会、クリーンクラブ活動、福祉NPO、食生活改善推進なども行われています

Ⅱ 大曽根区の行動計画

1 大曽根地区のスローガン

- (ア) お元気ですか？ お隣りさん！ 顔が見える安心地帯 大曽根
- (イ) いつまでも住んでいたいまち、ハートフル大曽根
- (ウ) 愛の手さしだす勇気、ハートフル大曽根
- (エ) 気軽にあいさつ、ありがとうと言えるまちにしよう
- (オ) ありがとうボランティア、勇気を出してやってみよう

2 行動計画（具体的な取り組み）

(1) 1人ひとりの市民自らの取り組み

- 保育園の子に声をかけていきます。
- チラシ、回覧板、掲示板はきちんと見るように心がけます。
- 地域の中に友達をつくります。
- 道端での温かい話かけを心がけます。
- 人の親切は感謝の気持ちで受けます。
- なるべく一晩中、門灯をつけ、町をあかるくします。
- 防災訓練に障がい者の参加を呼びかけます。
- 町内会館の利用方法を理解します。

大曽根地区地域懇談会



大曽根地区地域懇談会
第1回 平成17年7月30日(土)
第2回 平成17年8月27日(土)

時間 午後1時～3時
場所 大曽根小学校

(2) 地域での取り組みとそれを支える取り組み

① 交流

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
子どもどうしの交流や親どうしの交流の活発化のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○地域の集まりに参加し、地域の子に地域の大人の顔を覚えてもらいます。	●	→			
世代間の交流を進めるために	<地域・みんなの取り組み>					
	○町会の役員を中心に民生委員、保健活動推進員、友愛活動推進員、ネットワークの会で、一人暮らしの方々を訪問します。	●	→			
障がい児・者への理解と交流を進めるために	<地域・みんなの取り組み>					
	○地域で障害者施設の方と一緒に、車椅子を押す体験を行います。	●	→			
老人会を軸にした交流を進めるために	<地域・みんなの取り組み>					
	○「セサミ香房」を見学し、障がい者に対する理解を深めます。	検討	→			
老人会を軸にした交流を進めるために	<地域・みんなの取り組み>					
	○もえぎ、やすらぎなどのグループを中心に、高齢者に不安なことを直接聞く機会を設けます。	●	→			

② 情報・相談

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
必要な情報が簡単・確実に入手できるように	<地域・みんなの取り組み>					
	○情報の出し方を工夫し、大きな字での情報発信を心がけます。	●	→			

③ 場・拠点

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
皆で集える場の充実のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○一軒家の一人暮らしのお宅に順番に集まっていきます。	●	→			
	○気軽に集まる場の提供をしてくれる人やお店を募ります。	●	→			
	○子どもと高齢者が一緒に遊べる活動拠点をみんなで考え実現化に取り組みます。	検討	→			

④ ボランティア・担い手

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
ボランティアの育成のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○よろず・電話相談を実施します。	検討				→
	○中学校の生徒にボランティア活動を体験してもらいます。	検討				→
	○一般を対象とした講習会を実施し、誰でもボランティアができるように養成します。	●				→
ボランティアに関する情報を広げていくために	<地域・みんなの取り組み>					
	○自治会町内会新聞を発行します。	●				→
	○町内会のPRのため、チラシを発行し、ホームページをつくりま	検討				→
	す。					
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○事業者と地域との交流の場を設けます。	●				→

⑤ 安心・安全

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
安心・安全なまちづくりのために	<地域・みんなの取り組み>					
	○介護する側とされる側という考えではなく、お互いのできることを考え行動していきます。	●				→
	○町内会の班長には「ネットワークの会」に参加してもらい会員を増やしていきます。	検討				→
	○障害者施設の方と防災ボランティアと一緒に地域防災活動を行います。	●				→

⑥ 健康づくり

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
元気に過ごすために	<地域・みんなの取り組み>					
	○寝たきり、認知症予防のためにみんなで一緒に歩いて健康づくりをします。	検討				→